

分類 番号	A2	取組 名称	「丹後の海」の歴史・文化に関する総合的研究－丹後東部を中心に－
研究代表者所属・職名：		文学部・准教授	氏名： 藤本 仁文
研究担当者：			
京都府立大学文学部（上杉和央、東昇）			
外部分担者・協力者（吉野健一氏、小室智子氏、松本達也氏ほか）			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名）			
京都府立丹後郷土資料館、舞鶴市文化振興課、舞鶴市郷土資料館			
<b>【研究活動の要約】</b>			
<p>本研究は、「海」に注目して、丹後東部地域が持つ地域的特質を解明することを目的とした。平成 28 年度京都府立大学地域貢献型特別研究（ACTR）では「海」という視点を導入することで、丹後地域が持つ一体性とその地域的特質の解明を行ったが、同時に丹後の各地域が持つ地域性・独自性に関しては課題を残したため、平成 29 年度ではこの課題の解明を行った。研究活動の中心は、各地に残る資史料を整理し目録作成を行うことで、舞鶴市多門院区有文書、餘部上村庄屋井上家文書などの古文書を平成 28 年度に続けて整理を行った。また、それらが持つ価値を広く知ってもらうために、舞鶴で 11 月に調査報告会、3 月に成果報告会を開催し、さらに成果報告書を作成することで府内外への発信にも努めた。</p>			
<b>【研究活動の成果】</b>			
<p>「京都府立大学地域貢献型特別研究成果報告会 in 舞鶴」のシンポジウム午後の部「海とともに生きる舞鶴－丹後の海再考－」を開催した（2018年3月18日、来場者約70名）。京都府立大学から研究代表者の藤本が総合司会・コーディネーターを務め、同じく上杉和央（文学部准教授）、京都府からは吉野健一（京都府立丹後郷土資料館）、舞鶴からは松本達也（舞鶴市文化振興課）・廣瀬邦彦（東舞鶴高校）・小室智子（舞鶴市郷土資料館）・牧野雅司（舞鶴高専）・長嶺睦（舞鶴引揚記念館）が報告を行い、舞鶴で長年にわたる調査・研究を続けてきた研究者たちがその成果報告を共有し合った。多彩な視点から丹後・舞鶴の歴史・文化を考えるシンポジウムを開催することができたといえる。地元で生まれ育ち、その歴史・文化を担ってきた来場者からも貴重な意見が出された。また多門院調査報告会を行い、整理・目録作成を行ってきた多門院区有文書から分かる舞鶴の歴史を地元の人々と共有した（2017年11月23日、参加者30名）。以上の成果を踏まえて、報告書として『京都府立大学文化遺産叢書14 舞鶴・京丹後地域の文化遺産』を刊行した。これまで調査してきた文書の目録などを掲載し、後学の研究者が調査研究をするための必読書、地元住民・府民が丹後の歴史・文化を学習するための手引き書になる。本誌は府内公立図書館・主要大学のほか、国立国会図書館等にも配布しているものである。</p>			
<b>【研究成果の還元】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年 11 月 23 日 舞鶴市多門院地区の調査報告会 参加者 30 名（多門院公民館にて開催）</li> <li>・平成 30 年 3 月 18 日 「京都府立大学地域貢献型特別研究成果報告会 in 舞鶴」午後の部「海とともに生きる舞鶴－丹後の海再考－」 一般来聴者約 70 名（舞鶴市政記念館にて開催）</li> <li>・（成果報告書）『京都府立大学文化遺産 14』（京都府立大学文学部歴史学科、2018） ※（京都府立大学附属図書館・京都府立京都学・歴史館をはじめ、府内主要図書館で閲覧可）</li> </ul>			
<b>【お問い合わせ先】</b>			
文学部（研究科） 准教授 藤本 仁文			
Tel: 075-703-5259 E-mail: fujimoto@kpu.ac.jp			

参考 (イメージ図、活動写真等)



H30/3/18 「京都府立大学地域貢献型特別研究成果報告会 in 舞鶴」午後の部「海とともに生きる－丹後の海再考－」の様子（上杉和央（京都府立大学）報告）



H29/11/23 舞鶴市多門院地区の調査報告会の様子



H29/7/14・15 舞鶴市多門院区有文書、餘部上村庄屋井上家文書の文書整理